ド級編隊
エグゼロス
HEXEROS
きただりょうま
6
JUMP COMICS SQ.

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。著者カラー原画に加え、著者の原画をもとに集英社で一部デジタル彩色を行った特別編集版です。

ド級編隊
H×EROS
きただりょうま
6
JUMP COMICS SQ.

H×EROS Characters

H×EROS EROSをHネルギーに変え、キセイ蟲と戦うヒーローチーム。

HXEWHITE
白雪舞姫
エグゼホワイト

ドジで特技がない事を気にしているが、内に秘めたEROSは人一倍。

HXEPINK
桃園百花
エグゼピンク

姉への対抗心から、ヒーローへの誘いを受けた。烈人の雲母への気持ちに気付く。

HXEYELLOW
星乃雲母
エグゼイエロー

幼い頃のトラウマで、エロに拒否反応を示す。幼い自分の姿をした幻覚・黒雲母に悩まされている。

HXERED
炎城烈人
エグゼレッド

幼馴染の雲母を変えてしまったキセイ蟲が許せなくて、ヒーローになる。雲母の事が好き。

Story

地球はキセイ蟲による侵略を受け、かつてない危機に瀕していた。しかし、そんな敵と日夜戦い続ける少年少女の姿があった。彼らの名はH×EROS——。本部から海水浴旅行をプレゼントされた烈人達は旅行先でトーキョー支部の一同と出会い、親睦を深めた。その帰り、雲母と2人きりになった烈人は、彼女がいつも着けていた髪飾りが失くなっている事に気づく。2人で電車の終点まで向かい、髪飾りを見つけた時には終電を過ぎてしまっていた。迎えを待つ間に烈人は、その髪飾りが小学生の時に彼が雲母にプロポーズして渡したものだと伝え、雲母は後できちんと返事をすると約束して…!?

チャチャ

キセイ蟲の王女。Hネルギーを高める体質のため、仲間から疎外されていた。

叢雨紫子

トーキョー支部隊員。烈人を自分のHフレにしようとアプローチを続けている。

キセイ蟲

人間のエロスの源"Hネルギー"を奪い、絶滅を目論む宇宙人。

庵野 丈

地球防衛隊サイタマ支部HERO課、課長。烈人の叔父。

HXEBLUE

天空寺 宙

エグゼブルー

Hな漫画を描くのが趣味。XEROスーツのデザインを担当した。

contents

第25話
嵐の前の…

Extra Gallery

番外ギャラリー

エグゼロス

HxEROS

シャワーッ

ペタペタ
ぎゅっ
ふむ…
大分この身体にも馴染んできたわね…
……
今日をもって
エグゼロスは解散よ

ガッ
ガッ
ガッ
ガッ
ガッ
ヒュッ
ばっ

ドッ
やるじゃねーか…
…エグゼロス…
そっちの方こそ…
わざわざ力勝負で挑んでくるなんて度胸だけはあるみたいだな
ガラ
ガラ

ま俺たちにもいろんな戦法があるってことさ…
大丈夫なのだ…!?
…?
ああ…今終わった所だ
たたっ
!?
レット…早くそいつから離れるのダっ!

スッ
ボロ
ボロ
残念…
詰めが甘かったな人間…
ボロッ
なんだったんだ…今の…？
レット…身体は大丈夫なのだ⁉

カチッ
あのキセイ蟲の能力って一体なんなんだ…？
そ…それは…
ぱあああっ
チクっとしただけで特には…
!?
ピクッ
あれ…
…なんだか下半身に変な感じが…
XEROSUITS

ぴょこっ
ピ
XEROSUN

……
ピョッ
トトトッ
!?!?!

奴の名前は通称
〝ニョタイカ蟲〟
刺された雄から
男らしさを分離させて
徐々に雌化させる
恐ろしいヤツ
なのだ…

そ…それじゃあ
今逃げてった
オコジョ
みたいのは…

レットの〝男の根源〟なのだ
はあ!?
確かに…ない…
俺の男の根源が…!
ちなみに早く捕まえて元の場所に戻さないと戻れなくなるのだ…
マジかよ!!
(泣)

岩津
もがな
改革
岩津 新知事 もが
私が知事に
就任したからには
かつての条例を
刷新し 無駄な
税金を抑え
健全な社会を
築きあげるよう
尽力することを
お約束します
ざわざわ
こっちの方に
来たと思った
んだけど…
なんでも
ないのだ
どうしたんだ
チャチャ？

ふよっ
にしても
どこ行ったんだ…
クンクン
匂いだと
こっちの方
なのだ
わっ
なんだこいつ
…!?
ったく
しょーがねー
奴だな…
ひょこっ
!

叢雨…！
ドキッ
え…
炎城…？
奇遇だな
トーキョー住みがサイタマに来て奇遇な訳ねーだろ…
…ちょっと星乃雲母に預けたままの忘れ物を回収しに来ただけだよ…
あれか…
それにしても炎城烈人…お前ずいぶん髪伸びたんだな…
23話参照

へ…？

そういやエロい人ほど
髪が伸びるのが
早いって どこかで
聞いたことが…

そっ…
そんなことより
そのオコジョ
捕まえてくれて
ありがとな
ウチのペット
なんだけど 逃げ
出しちゃって…

どうしたんだ？
いや…なんでも…
なんだ今の…
今…俺の根源をつままれたような感覚が…
ムズムズ♥

あっ
コラ！
ピ…
ぽっ
スポッ
もぞ
もぞ
くっ…あははっ
ちょっ どこ
入ってんだ…！

するするっ
♡んっ…
ははは…っ
お前に似て元気なペットだな…
ちょっ…流石にこの刺激はッ…

きゅん
きゅんきゅ～ん
～～～ッ♡♡
さ…流石炎城のペットだぜ…
へなへなっ
まっ…待て…俺の根源っ…！
ふらふら…

ふう…なんとか捕まえられたな
じたばた
ぴーーーッ
でチャチャ一体どうすれば元に戻るんだ？
邪魔…
さ…最初に言ったのだ…〝元の場所〟に戻せば戻るって…
？
へー…
つまり男の根源を
元の場所に挿し込むのだ

はぁ!?
そう言われても…早くしないと手遅れになるかもしれないのだ…?
んなこと出来る訳ねーだろ!! 他の方法は!?
すとっ
ギュ
ギュ

これが俺の身体…？
確かに…さっきよりずっと女の子っぽい気が…
なんならボクが手伝うのだ？
いいっ
つーの！
そうだ…深く考えるな…元あった場所に戻すだけ…
別にそれ以上の意味なんてないんだから――
ドキ
ドキ
そー…

ぴとっ…
ビビ
ッッ
!?
なんだ今の…
一瞬 身体に電撃が
走ったみたいな…
コテッ
こんなの
元の場所に
挿し直したら…
一体
どうなっちゃう
んだ…!?
ピトッ
あっ!

ただいまー
ガラ
クッソ〜どこ行きやがった!?
!
俺の根源…!
はっ
違うんだ…!これはその…
あ…あの…

?
どちら様でしょうか…？
まさか白雪…俺だって気づいてない…？
えっと〜…私は烈人の妹の緋色と言いまして…（裏声）
兄貴に用事があって来たんですけど留守みたいっすね
ハハ…
な…なるほど！そうだったんですね
ごめんなさいね変わった寮で…
お茶でも淹れますからどうぞ上がって下さい
ほっ
は…はい…
ささっ
!?
ドキッ

どうしたんですか
緋色さん？
顔色が…

この感覚…
もしや…

もじ
もじ

ちょ…
ちょっと
俺…

トイレ行って
来まーす！

だっ

あっ

ええか雲母
ルンバはこうして
洗ってやるんやで
泡多すぎじゃ
ない…？
わしゃ
わしゃ
モフッ
ルンバはすぐ
汚れてまうから
これくらいが
ちょうどええんや
ザバァ
なルンバ？

モフッ
誰ッ!?
びしょっ
ブルブルッ
モコッ
ん？
こっちはホントに誰!?
ピューーッ
！
この生温かい感じ…何か嫌な予感が──

ここか…!?
ガラッ
あ…
…えっと……
……誰？
ああごめんなさい お手洗いの場所 ちゃんと 教えなくて…
タタタタ

彼女は炎城さんの妹の緋色さんで
そのペットの飼い主だそうです
じーっ
ギクッ
そ…そうっすか…？
緋色ちゃん…？見ないうちに随分逞しくなったわね…
ヤベ…星乃は緋色のこと知ってるんだった…！
へくしゅん
ピ…
ズシズシ

ちょっと危ないわよルンバ
ピーッ
つるっ
きゃあっ
ばしゃっ
いった〜…何こけてんねん雲母…
もう…文句ならルンバに言ってよね…

もういっそ
このままお風呂に
入っちゃおうかな
っ!?
せやな
脱っ
せや妹ちゃんも
一緒に入らへん？
服濡れてるやろ？
いいですって
そんな…
ぷるぷる。
まぁまぁ遠慮
せえへんでっ
ぎゃ〜っ!
それに烈人の
弱みがあれば
聞きたいしな
ひいいっ
……!

も…桃園の奴…意外に力あるじゃねーか…
バクッッ
バクッッ
バクッ
緋色ちゃん何歳になるんだっけ？
じゅ…15歳です…
へー宙と同い年なんや

でもまさか烈人に妹がいたなんてなぁ
私も昔は一緒に遊んだっけ
それで緋色ちゃんは好きな人とかおるんか？
いっ…いないっすよ…！
タ々分…
なんや怪しいな…
生意気にウチよりでかい胸しよって
モミッ
ぎゃあああっ！
………

それじゃあ
お兄ちゃんは
好きな人とか
いるのかな…？
さっき百花が
弱みを聞くとか
いうから つい…
べっ別に
深い意味は
ないのよ…!?
ニヤ
ニヤ
へー…

……アイツの考えてることはよくわからないけどさ…
ただ一つ言えるのは…
今も昔も…頭ん中は小学生のまま変わって無いってことかな
チューボーの癖に一丁前なこと言うやんけ
フアっ!?
キュッ

ムクッ
何してるんや？あのオコジョ…
ぶくぶくぶく…
さぁ…自分も洗って欲しいんじゃない？
しゃーないウチがキレイにしたるわ
ひょいっ
そっ それは…！

ゴシ
ゴシ
ホラホラ
ここが
ええんか〜？
フフ…
すごい気持ち
よさそう
はう…ッ
ビクッ
ビクッ

まるで俺の男の根源が…
二人に洗われてるみたいで——
!?
プピッ
ガバッ
もっ…もう出ます…！

ステーン
きゃあっ

ゅ…

ギュッ
!?!?!?
ピクッ
ぐい
ぐいっ
はっ…♡
ああ〜…
?
どうした の
緋色(ひいろ)ちゃん
…?

つぷんっ
ああ〜〜〜
〜〜〜っ

ボウンッ!!
ぱっ
あっ…大丈夫
オコジョちゃん?

って烈人!?
一体どうなってんねん…!?
……
カァァッ
ってことはあの言葉…
炎城に聞かれたってこと…!?

いやあああああああぁっ
ビクーッ
またやってる…
続いてのニュースです
新県知事就任に伴い制定された条例により初の逮捕者が出ました
！
皆来てっ…！

どうしたんや 宙？
これ見て
！！！
19:19
市役所職員の男
公然猥褻強要で
News
未成年に公然猥褻を強要した罪で逮捕された容疑者はサイタマ市役所職員で
地球防衛隊と名乗る謎の課に配属されていたようです
調べに対し
「平和を守る為に仕方がなかった」と謎の供述

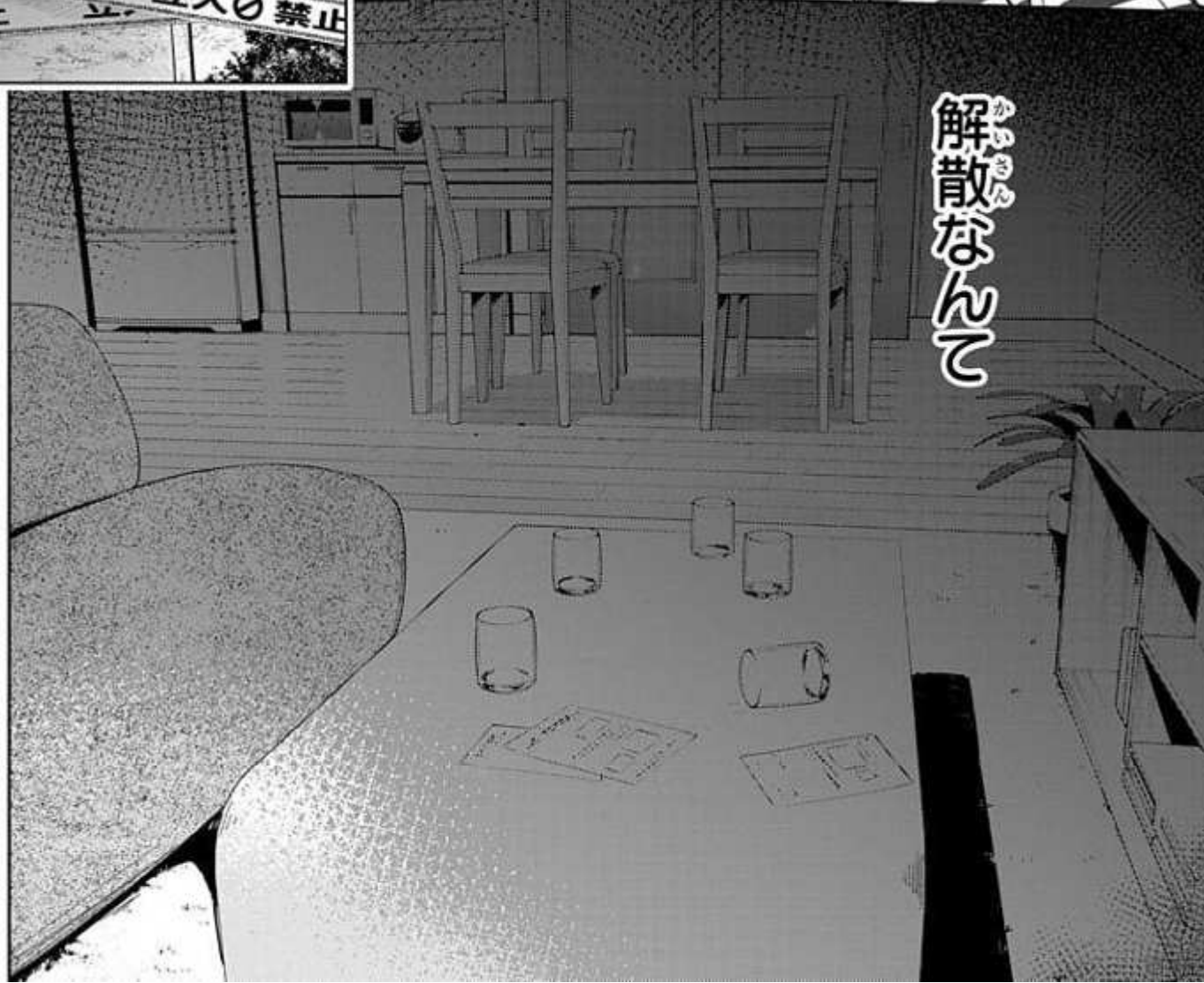
Extra Gallery

番外ギャラリー

ド級編隊 エグゼロス

HxEROS

はー…
ぼふっ
第26話
ガチャ
げっ
お兄ちゃん
…
そう言えば
ウチに戻ったん
だっけ
んー
でもまさか
寮を出禁になる
なんてねー
女風呂でも
覗いたんじゃ
ないの〜？
ニヤ

んー
なんだよ つまんない なー もー
さっさと 風呂入り なよー
んー
未だに実感が 湧かない…
まさか 叔父さんの…
ゴロン
…俺たちの エグゼロスが ——
立入禁止
立入禁止
解散なんて

KEEP OUT
H×EROS
181204
001
H×EROS
181204
002
第26話
バイバイ、エグゼロス。

数日前──
う…嘘よね…おじさんが逮捕だなんて…
だっ 大丈夫や 烈人…！
おっちゃんのことや何かの間違いに決まっとる！
でも容疑が容疑だし…
宙ちゃんっ…！
……
ピンポーン
!?
どきっ

真朱さん
佐渡島さん
ごめんなさいね
こんな遅くに…
皆居る…？
はい…
あの…一体
どうなってるん
ですか…!?

ごめんなさい
私たちにも
詳しいことは
わからなくて…
危険って…
どういう意味
だよ…
ただ一つ
言えるのは…
今の我々は非常に
危険な状態にいる
ということだ
私たちも今
やれるだけやっては
いるんですけど…
上からの指示で
エグゼロスは
一時的に解散
ということになる
!?
ああ…でも
残念だが

ともかく時間がない
いずれこの寮は閉鎖され機材も差し押さえられてしまうだろう…
そんな…
だから君たちはHXEROSとXEROSスーツを持って自宅で待機だ
くれぐれも目立った行動はしないように
さあ急いでっ！
はっはい…っ！

気付いてるかサエ…
何か嫌な予感がする…
ええ…
警察署――
ガシャン
なんだこの状況は…
法律は遵守していたはずなのに急に条例が変わるなんて…
何かがおかしい――

はーっ…
たっ
ドキッ
遅刻なのに歩きなんて余裕みたいね
…お前も人のこと言えないだろ…？

それに…この間 あんなことがあったばっかだし…
なんだか気が抜けちゃってさ…
………
で…でも逆にもうあんなHERO活動手伝わなくていいんだから
少しは前向きに考えてもいいんじゃない…?
でもなぁ…
むむ…
!

そ…それに部活にも入ってないんだし少しは高校生活を楽しまないと！
…それってどういう――
ってことでこれは私が預かっとくわね
すっ
あっ！
炎城が真面目に高校生活満喫できたら返してあげる
…アイツ段々昔に戻ってきた気が…つーかあいついつも遅刻だし
たっ

花火大会？
あぁ もうそんな時期だったっけ
ゴニョ
ゴニョ
うん それで相談なんだけど…
炎城を誘って欲しい!? なんでまた…
あっ…安心して そういう意味じゃないから

ーなるほど…
つまり炎城の友達を花火大会に誘いたいから
私にその友達が一緒に来るよう炎城を誘えってことね…
でもまさか陽香が伊達のことをねー
こっ声が大きいっ…！
別にいいでしょ…!?
雲母だって最近 炎城と仲良いし
そんなの見せられたらまぁ…ね…？
んもう仕方ないなー一つ貸しだからね？
ありがとー雲母ー♡

これこれ…こういうのよ…！
ようやく戻ってきたわ
エグゼロスとかキセイ蟲とかHネルギーとか
そんなのとは無縁な高校生活が…！
──って訳だから
週末は予定空けといてよね…！
な…なぁ星乃…お前なんか無理して誘ってくれてないか…？
む…無理なんてしてないわよ…！
で行きたいの!?行きたくないの!?
行きたいです…

星乃
違うなぁ
うーん…それでもない
ねぇ…ただの花火大会なのにそんなに下着選びが重要な訳…？
何言ってんの花火大会だからこそ重要なんじゃない
それにれっくんが一緒ってことは万が一ってことも―

ありがとうございましたー
当たりが出て2本もらっちゃった
でも珍しいなホワイトチョコバナナなんて
何よコレ…!? まだ全然チョコが固まってないじゃない…!
♡
トロー

染みになる前に早く拭かないと…
ホラ拭くのは俺に任せて星乃は舐め取るんだっ
ぺろ
ぺろ
ふき
ふき
ちょっ…どう考えても分担逆でしょ…！
そうか？
ふき
ふき
それなら俺が舐め取ってやってもいいんだぜ…？

って 何てもの想像してんのよっ!?
ああ 私の想像はアナタの想像でもあったんだっけ
でもそんなこと言うんなら自分で選べばいいんじゃない?
そっちの方が面白そうだし
……あいつが一番喜ぶ下着なんて…
じゃ…じゃあ…
!
マジ…?

おそーい
雲母ー
ごめん
ごめーん
お待たせー
ういっすー
お
雲母も浴衣
着て来たんだ
って
あれ…？
伊達くん
炎城は…？
あー
あいつ？
ついさっきバイトの
連絡が来たとかなんかで
少し遅れるって

ざわ
ざわ
ねぇ雲母
あの二人何かあったの？
ま私達の知らない所で色々あったんじゃない？
でもまさかあんなに喧嘩ばっかしてたあの二人がねー
あんただって炎城と急に仲良くなったくせにー
そっそりゃあ一応幼馴染だし…！

にしても
せっかくの
花火大会
なのに…
何
やってんのよ
炎城は…
ムスッ
……ちょっと
私 お手洗いに
行ってくる
はーい
?
ごめん
おくれて
ううん
私も今
来たとこ
今のお面の人…
一瞬キセイ蟲に
見えた気が…
これって
明らかに
職業病よね…

ずらっ

すごい並んでる…！

うず…

もじ

もじ

し…
仕方ない…

はぁ…
あぁ
ごめんなさい
神様…
ガサッ
って
炎城…!?
キャアァ!!
ドキッ
ぽろっ
星乃…?

大丈夫…!? ていうか なんで こんな所に…
ててて… いやー 来る途中でキセイ蟲を見つけてさ…
倒そうとしたら この有様って訳…
もう… 花火大会の日くらい じっとしてられない訳?
なによ… せっかく楽しみにしてたのに…
悪い悪い…
H×EROSがないのを忘れて止めに入ったのがいけなかったな…
!
ごめん… 私の所為だよね…

んなことねーよ…
でも今日は花火大会で大勢人が集まるからさ
こんな日にキセイ蟲は見逃せないだろ…？
は
星乃っ花火の打上会場ってどっちか分かるか!?
ちょっと！どうしたって言うのよ…
多分向こうの方だと思うけど…
奴は…この花火大会を襲いに来たんだ

遅いなぁ
雲母…
早くしないと
花火始まっちゃうのに…
でもなんか花火の
時間も遅れてる
みたいだし
丁度良かったな
イデッ!?
ぎゅっ
間に入らない!
もー 気が利かないん
だから…
えっ…
どういう
意味!?
ほら二人とも
混んでるんだから
詰めて詰めて
？？？
ぐい
ぐい

!?
大丈夫…Hネルギーを吸われて気絶してるだけだ…
ほっ
炎城ッ…あれ…!
!

キショショ
聞く所によると
こんな火薬の塊を
打ち上げるだけで
なぜかニンゲンは
多くのつがいを
作るみたいですね
か…勘弁して
くれ…っ
この日をずっと
楽しみにしてる
人達が大勢
いるんだ…!
一時の感情に
流される
愚かな生物
ニンゲン――
そんな生き物は
火薬と一緒に爆発して
しまえばいいのです
だから私が
ここにある
火薬全てを
あのニンゲン共の
盛り場にブチ込んで
あげましょう
!?

早く助けに行かないと…！

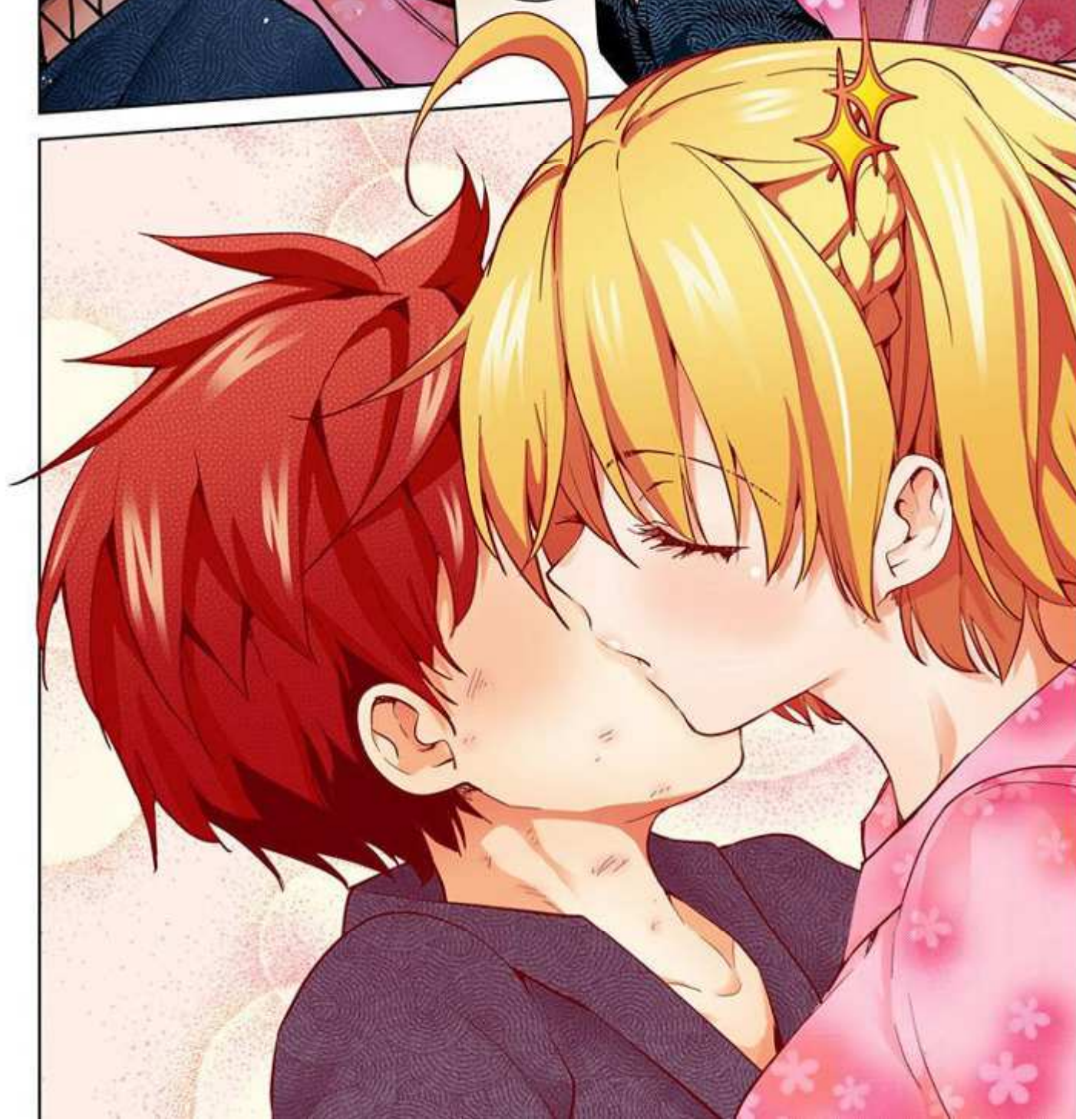
ちょっと…！このまま行ってもまた返り討ちじゃない…

それに本部にはHERO活動は禁止だって…

……

だけど
エグゼロスを
やってて一つ
わかったんだ…
俺たちは…
人の恋路を
守ってたんじゃ
ないかって…
他人の恋路も
守れない奴が
どうやって
自分の恋路を
守れるんだよ

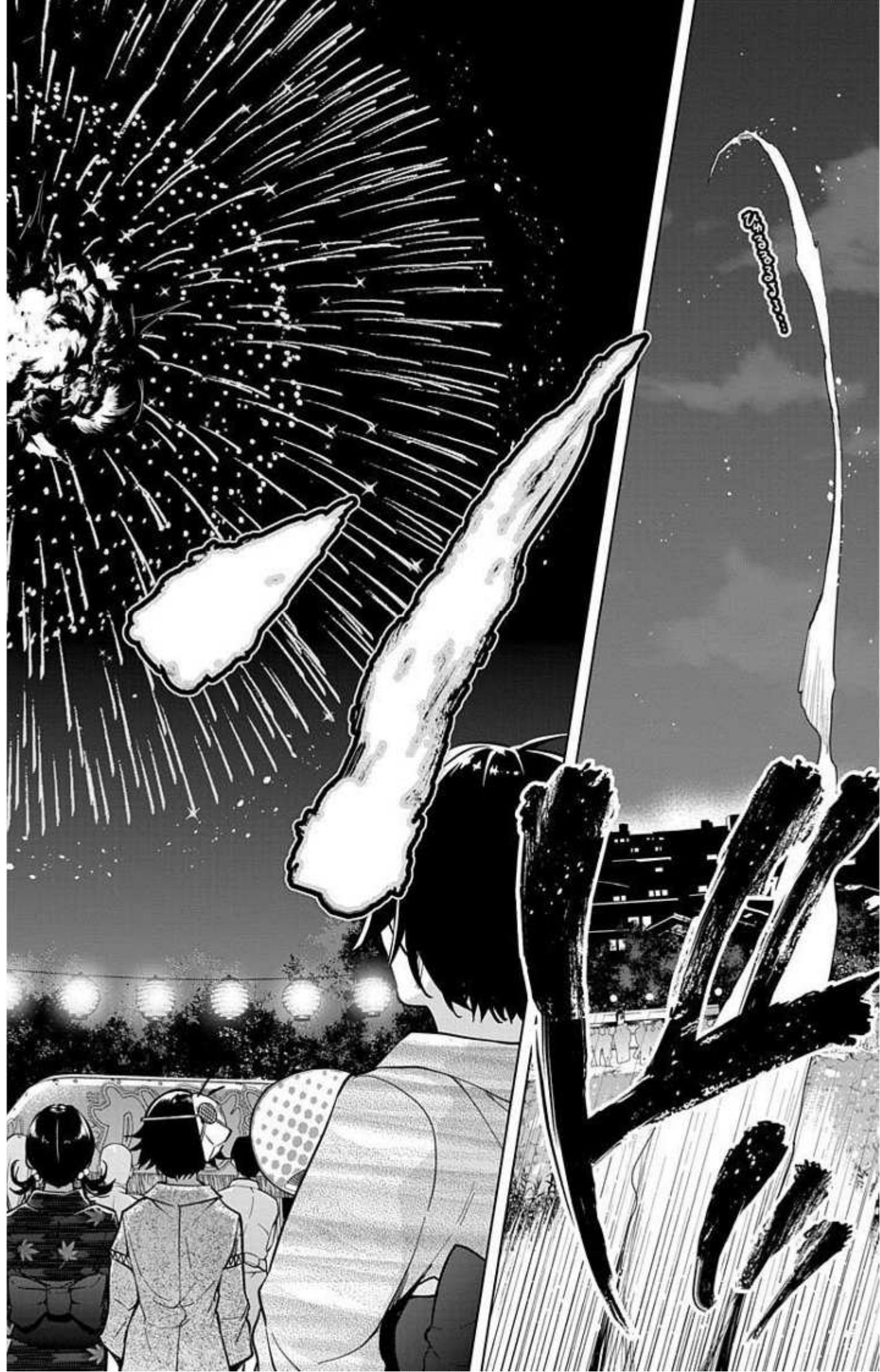
出て来て黒雲母
すぅ〜
なぁに？
アナタの方から呼ぶなんて珍しいじゃん
あんたに今…どうしてもHネルギー溜めて欲しいの…
ちょっと身体貸してね
ふふっお安い御用よそんなこと
!

ねぇれっくん
ちょっと
こっち向いて
?

!?
あっあの…
…これは…
へえぇっ!?
スルッ
アナタの為にほっぺたで勘弁してあげたわ…
感謝してよね
黒雲母の奴
〜〜〜〜ッ!!
パァッ

HERO
ヒーロー

…り…理由は後で説明するから…！
ほ…星乃…？
まずはアイツを
ブッ飛
ばす!!!
だっ
生☆成

ひゅるるるるる…

お 始まった
すごーい
雲母もどこかで見られてるといいんだけど…

ドンッ
パラララ
なるほど…過去の人格…か…
信じられないかもしれないけどホントなのよ…
まぁ確かに最近変な行動が多かったかもな…
あんまりジロジロ見ないでよ…
まだ恥ずかしいんだから…
わっ悪い…！
だけどコレ…返そうと思って炎城の持って来ててよかった…
いや…それもそうだけど…

XEROスーツ…下に着て来たんだな

!?

あッ…あー これ…!?

このXEROスーツとかいうの…下着型で間違えやすいのよね…!

XERO SUITS®
(発動前)

言える訳ないじゃない…

おーい
カラ
コロッ

なんだ…皆も来てたのか…
うんさっきそこでたまたま会った
キセイ蟲の反応を辿って来たらそこで合流したんです
せやけどもう退治したみたいで助かったわ
ほっ
!

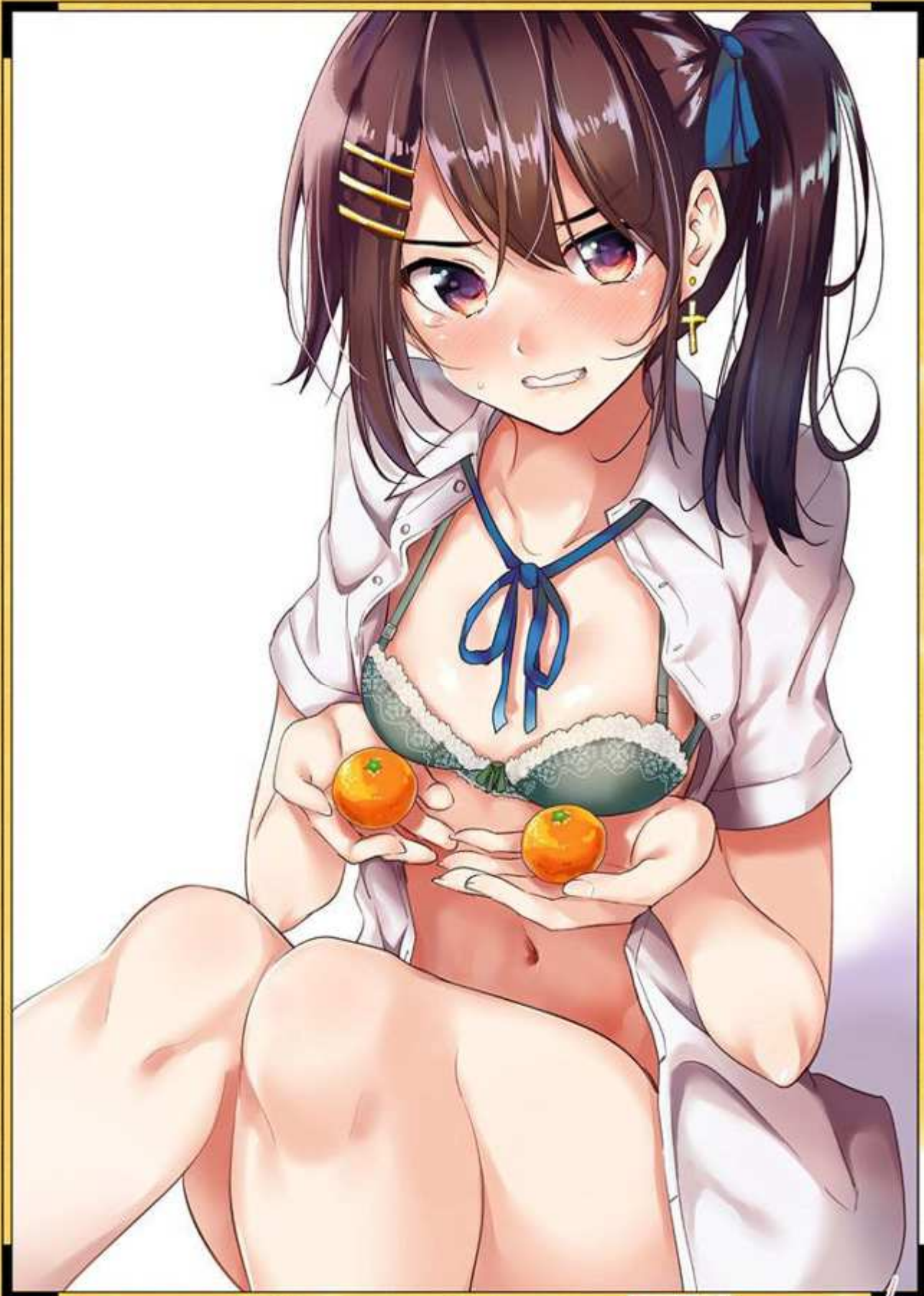
もっ
もしかして…
皆もまだHERO活動続けてたの!?
ぷっ
ギク
あははは
なんや?ウチらも雲母と同じで嫌々やってると思ったんか?
これくらいのことじゃエグゼロスをやめたりなんかせえへんで
ゴクッ
舞姫ちゃんも最初は戸惑ってたけど今や楽しさに目覚めたみたいだしね
ちょっ…誤解されそうな言い方やめて下さい…!

岩津
改革
ちがな
岩津
改革
ちがな
！
にしても
あのおっちゃんが
新知事の作った
条例に引っかかる
なんてな…
ウチらも別に
無理矢理やらされた
訳やないのに
ひどい話やで…
このニンゲン…
どうしたんですか
チャチャちゃん？
なんだか
あのニンゲン…
ちょっと
気になることが
あるのだ
……

気になるって
どういう
意味よ…？
わからないのだ…
でも何だか知ってる
感じがしたのだ
……
擬態…
チャチャ
確かキセイ蟲は
人間に擬態出来る
タイプも居るって
話だったよな…？
なのだ
例えばだけど…
知事に成り代わった
キセイ蟲が叔父さんを
逮捕して
エグゼロスを
解散させるように
仕組んだとか…
！
な…何
言ってるんや
烈人…!?

でもそういえば佐渡島さんが言ってた…
この事件には何か裏があるって…
……確かめる方法は一つ…
!
この人に会えばわかる
岩津
もがな

Extra Gallery

番外(ばんがい)ギャラリー

第27話
岩津知事 本日はご講演 ありがとう ございました！
いえ 表現規制に 関する講演でしたら いつでもお呼びに なって下さい
どうです？ この後 議論を 深める為にも お食事など
車を待たせて ますので結構で ございます
それでは 失礼します
ウィーーン
ブロロロロo o o

ぐーっ
すみません前の車追ってください！
へっ…？あ…はい
ザキ
よ…よろしくお願いします…
!!?
ぎゅうっ

第27話
決意のチャチャ

Demy's
デミーズ
Demy's
ペット
入店禁止
えます
なるほど…
ってことはキセイ蟲が擬態してるかどうかはチャチャじゃないと確認できないってことか…
そういうことなのだ
モグモグ
かと言って白昼堂々確かめるのももし本物のキセイ蟲だったら危険だし…
そもそもウチらの話なんて誰も聞いちゃくれないやろ
それならいっそ直接会いに行けばいいのだ？
ゲプ
……確かに

どうしたチャチャ？

エグゼロスが無くなったのにまだ皆ボクを気にかけてくれたり家に住まわせてくれたりしてるのに…

ボクはまだ何も出来てないのだ…

んなことねーって
現にこうして手伝おうとしてくれてるだろ？
それにチャチャが居たお蔭でスーツも出来たしキセイ蟲の弱点もわかったんだしさ
ボクも…
皆に会えてよかったのだ

あぁ…俺のお年玉が…
言っとくけど…帰りもあるのよ…？
ふあ～…
にしてもなんで知事がこんな辺鄙な所に住んでるんや…？
確かに少し変ですね…
でこの後はどうするんや？
高校生がいきなり押しかけたらいくらなんでも怪しすぎるで
ピンポンダッシュするとか…？
本物の知事だったらどうするんですか!?

それなら ボクが 行くのだ
！
……きっ……
ボクが一人で 擬態して近づけば 怪しまれないのだ
危険です…！ 相手は敵かも しれないん ですよ…！？
そんな所に チャチャちゃんを 一人で行かせる 訳には…
それでも… ボクも前から もっと 皆の役に立ちたい って思ってたのだ…
一人だった ボクに皆は 居場所をくれた

もしまた皆であそこに戻れるかもしれないのなら
ボクも頑張れる気がするのだ
チャチャちゃん…
それにいざとなったら皆が助けに来てくれるって信じてるのだ
はい
約束です

いいか チャチャ
やることは簡単だ
あの知事の家に行って
キセイ蟲の痕跡が
ないか確認してくる
だけでいいんだ
問題なければ
そのまま帰って
くればいい
もしキセイ蟲
だったら…？
俺たちがすぐに
助けに行くから
思いっきり
逃げて来い
……大丈夫…
ボクなら
やれるのだ…！
グッ

ぴんぽーん
お…お届け物なのだー
大丈夫でしょうか…
あの棒読みはちょっとな…
※チャチャ
はい
ガチャ
来たっ

はい…？
アレが知事か…
知事っていうより痴女って感じやな…
サ…サインが欲しいのだ
ああ…
……！

何やってんだ アイツ…!?

あっ 白雪さん!?

つたく さっき 自分で危険 だって言った ばっかだろ…！

皆さんは そこで待ってて ください…！

あれ…どこ行った…？

ちょっと大丈夫なの…!?勝手に入って…

ドア開けっ放しだったし…人探しなんだから大目に見てもらえるだろ

チャチャちゃん…！

よく戻って来てくれた…

！

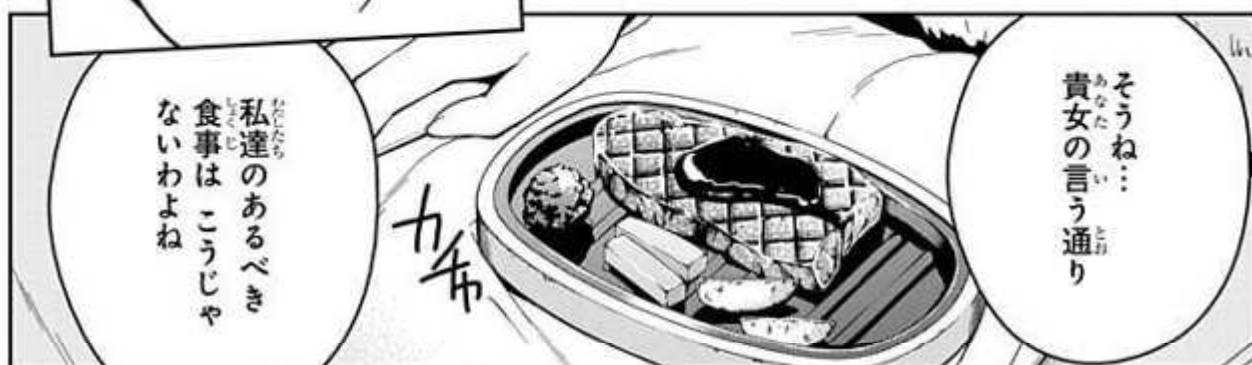
愛しの我が娘よーっ♡♡♡
むぎゅう
こんなに良い土産も用意してくれたなんて嬉しいわ
それに…
さ向こうで一緒に食事でも致しましょう?
一体…どうなってるんだよ…!?
な…なぁ今チャチャのこと…我が娘って言わへんかったか…?
ってことは…!

女王…キセイ蟲…!?
まさかこんなに早く会えるなんてね
それにしても…よくもまぁ閉じ込めてた この娘を逃がしてくれたわね
……
……
離れてろチャチャっ!

そいつは俺がぶっ倒す…！

すっ
大丈夫
お友達は傷つけないから安心して
ただ逃げられないようにするだけだから
ズガッ
!?
この部屋はHネルギーでは決して壊れない
耐Hネ素材で出来てるから出ようとしても無駄よ
ああ そうそう…
せいぜい無駄なHネルギーを溜めることね
バタン

やっぱり開かない…
そ…そんなことある訳ないじゃないですかっ…！
まさか…チャチャが裏切るなんて思ってもみいひんかったな…
すまん舞姫…別に本気で思ってやないんやで…
あっ…私の方こそすみません…
…ただ…チャチャちゃんの雰囲気がいつもと違ってたことが気になって…
ともかくどうにかしてここから出ないとな…

どう？
この惑星の料理も
悪くないでしょ？
まさか私の
能力が…
それにしても
驚いてたわね
あのニンゲン達
“全てのキセイ蟲を
意のままに操れる”
なんて思いもしない
でしょう
ぽーっ
どうしたの？
食べないのかしら

いらないのだ…
そうね…貴女の言う通り
私達のあるべき食事は こうじゃないわよね
カチャ
でも心配しなくていいのよ
ちゃんとHネルギーの飼場は用意するから
あのニンゲン達を使ってね
キイイイイイ

そこで延々Hネルギーを溜めるだけの家畜にしてやるのよ

……そ……そんなことは…

！

ボクがさせないのだ…！

バタン
駄目…ホントにこの部屋の壁…
Hネルギーを通さないみたい
シュウウゥゥ…
くそ…しかもよりによって圏外かよ…
それじゃあ…もう打つ手なしってこと…？
いや…
まだ手は残ってるで…
！

ただこれはサイタマ支部ではタブーとされてきた禁断の方法
破るには相応の覚悟が必要や…
ま…まさかアレを…!?
いや…それだけは絶対駄目だ…!
何言ってんの炎城…!
緊急事態なんだしそれしか方法がないなら何でもやるしかないでしょ
で何なのその方法ってのは…?
それは…
メンバー間の同意の上でのスケベや

なななに何言ってんのよアンタ!?
この壁をぶち破るには奴らの想定外の力を出すしかないんや…
ほ…ほら白雪さんも言ってやって
……
や…
やりましょう!
へ?
やっぱり私はチャチャちゃんが裏切ったとは思えなくて…
きっと何か事情があるに決まってます…
それを確かめる為にも早くここから出なくちゃ…

Hなことしないと出られない部屋…
なるほど参考になりそう…
ガーン
宙ちゃんまで!?
それに自分でも言うたやんかなんでもやるって
皆が炎城の毒牙の餌食に――
そ…そうだけど…
どうしよう…このままじゃ…

すっ
まぁ確かに
れっくんがそれでHネルギー溜めるのは私としても癪ね…
!
ゴニョ
ゴニョ
私にいい案がー
みっ…皆聞いて…!
!
やっぱりこういうことは心に決めた人とやるべきだし…
その方がエッ…Hネルギーも強くなると思うの…
…だから…

部屋を誰が誰だかわからなくなるくらい真っ暗にして
後はそれぞれ自分の妄想力でHネルギーを溜める
これが私の条件よ
す
し…質問…
これ…もしかして俺もやる流れになってないか…？
ンゴッ!?
せっかく雲母がヤル気になっとんのに何水差してんねん！

ん…
ガバッ
あれ…?!
まさかこれ…
ぼや〜〜っ
ギシ…
もう始まってる…!?

この胸の大きさ…
というか小ささは…
お？この感じ烈人引いたみたいやな
桃園か…!?
くりっ
くりっ
するっ
!?
ちょッ…何してんだよ桃園の奴…!?

このままじゃヤバイ…!!
ばっ
あれっ?どこ行きよった烈人の奴…!
ひいいっ…!
がしっ
捕まえた
ほれほれ身体がビクビクなっとるで?
ビクッ
ん…んっ
ビク

あれ…？
でもなんや
この柔らかさ…
むにっ
って烈人と
ちゃうん
かーい!!
じっ

はあっ
駄目です千夜ちゃんっ…
はあっ
はぁっ
はぁっ
？？？……誰や？
カァァッ
助かった…
とりあえず穿く物探さないと…！
目を凝らせば少しは見えないか…？

うーん 何も見えない…

なんだろ…？お尻に温かい息がかかってるみたい…

視覚で無理なら嗅覚でどうだ…？

！

くんかくんか

ドキッ

ぷるっ
流石に無理か…
はーっ
ぞくぞくっ
やっぱ手探りで探すしかないよな…
へなへな…

ん…
くにゅっ
…あッ♡
ちょっと自分の脇くすぐって声出すのやめてくんない…!?
アナタがちゃんとHネルギー溜めないから私がお手本見せてあげてるんだけど？
余計なお世話よ…！
まーたそんなこと言って…
せっかくお膳立てしてあげたのに無駄にする気？
もしかしたられっくんは他の女子達とはっちゃけてるかもよ…？(笑)
！

……私だって……本当は……
ドクン
ドクンッ
ドクンッ
そ〜…っ
大丈夫…真っ暗で誰にもわからないしちょっとだけなら…
どきどき
すっ

……この触り心地……まさか……
さわ
さわ
さわっ
!?
星乃……？
炎城……？
!?
きゃああっ～～～！
ばっ
ズルッ

ドサッ
ちょっと！どうなってんのよ コレっ…
…もしかしたらベッドの隙間に落ちたのかも…
いいから早くどいて！
俺もそうしたいんだけど…手が下に挟まって…
ぎちっ
ふー…ふぅーッ…
少し腰を浮かせてくれないか…？
駄目…さっきの黒雲母の所為で敏感になってる所なのに…

星乃…？
ごめん…腰が抜けちゃって…
だんだん目が慣れてきたけど星乃の奴…
はっ
はっ
今浮かせるから…
ゆ…ゆっくりね…？

なんて顔してんだよ

…いいよ…
抜いて…

はぁっ
はぁっ
ガッ
どてっ
ギャッ
まさか女王である私に歯向かうなんて…
やっぱり昔みたいに閉じ込めておいた方がいいかしら？
ザザッ
ザザッ
も…もうボクは操られないのだ…！

そういえば
アナタは突然変異
だったわね…
今ならまだ
許して
あげるわ…
一体どっちの
味方なのかしら
…？
…確かにボクは
キセイ蟲でも…
ましてや人間
でもない…
でも
これだけは
言えるのだ…
ボクは
エグゼロス
なのだ
そう…
残念だわ

!!!
オオオオ
オオオオ

Extra Gallery

番外ギャラリー

第28話
決戦！エグゼロス

Extra Gallery

番外ギャラリー

みんなっ!!

ごめんなのだ…
ボク…なんでこんなことになったのかわからなくて…
よかった…いつものチャチャちゃんです
もう大丈夫だ…俺たちが付いてる

ムスッ

!
ドドドドドドッ!!!
天空の閃光

せーのっ
ドッギャ
ボゴォッ

……
ザァ
ザァ
もう観念するのだ母上
なるほど…
ズルゥゥゥゥ…
流石耐Hネ素材の部屋を破っただけはあるみたいね…
優秀なHネル源として見逃しておいたけど…
そうも言ってられないみたいね…
そっちが〝ペット〟と一緒に戦うなら
パチン
こっちも同じことをするまでよ

!?
何…この音…？
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
…この子は昔 我々の先祖が創造したと言われる生物兵器でね…
Hネルギーを与え過ぎたらこんなに大きくなっちゃって
私でも制御不能で使わなかったけどこの際 使わせてもらうわ…
ズオッゴォ
ぜミッ
ぜミッ

ヴゥルルルルルルルルルルルッ
ドゴーンッ
!!!
かいらくせいせいじゅう
快楽生成獣
ラヴ・クラフター
シュ
ルルルッ
マジ…!?

きゃああっ!!
なんやコレッ!?
みんなっ大丈夫…!?
くそッ何なんだコイツ…!?
ちなみにその子Hネルギーがやみつきになっちゃったみたいだから
街に降りたら大惨事じゃないかしら?

まぁせいぜい頑張りなさい
スッ

追うんや二人共ッ…！
！
だけど…
私たちは自力でなんとかします…！
大丈夫…さっきのHネルギーまだ残ってるから
うねうね

……わかった…
絶対…後で戻ってくるから…!
だっ
ギロッ
しゅるるっ
パルスエコー砲
ボ〜〜
アナタの相手はまだ私達です…!

ズリュッ
ボコボコッ
あれ…効いてません…？
ちゅーっ
!?
しーん
うね
うね
なっ…なんで…
H×EROSが反応しないの…!?
うね

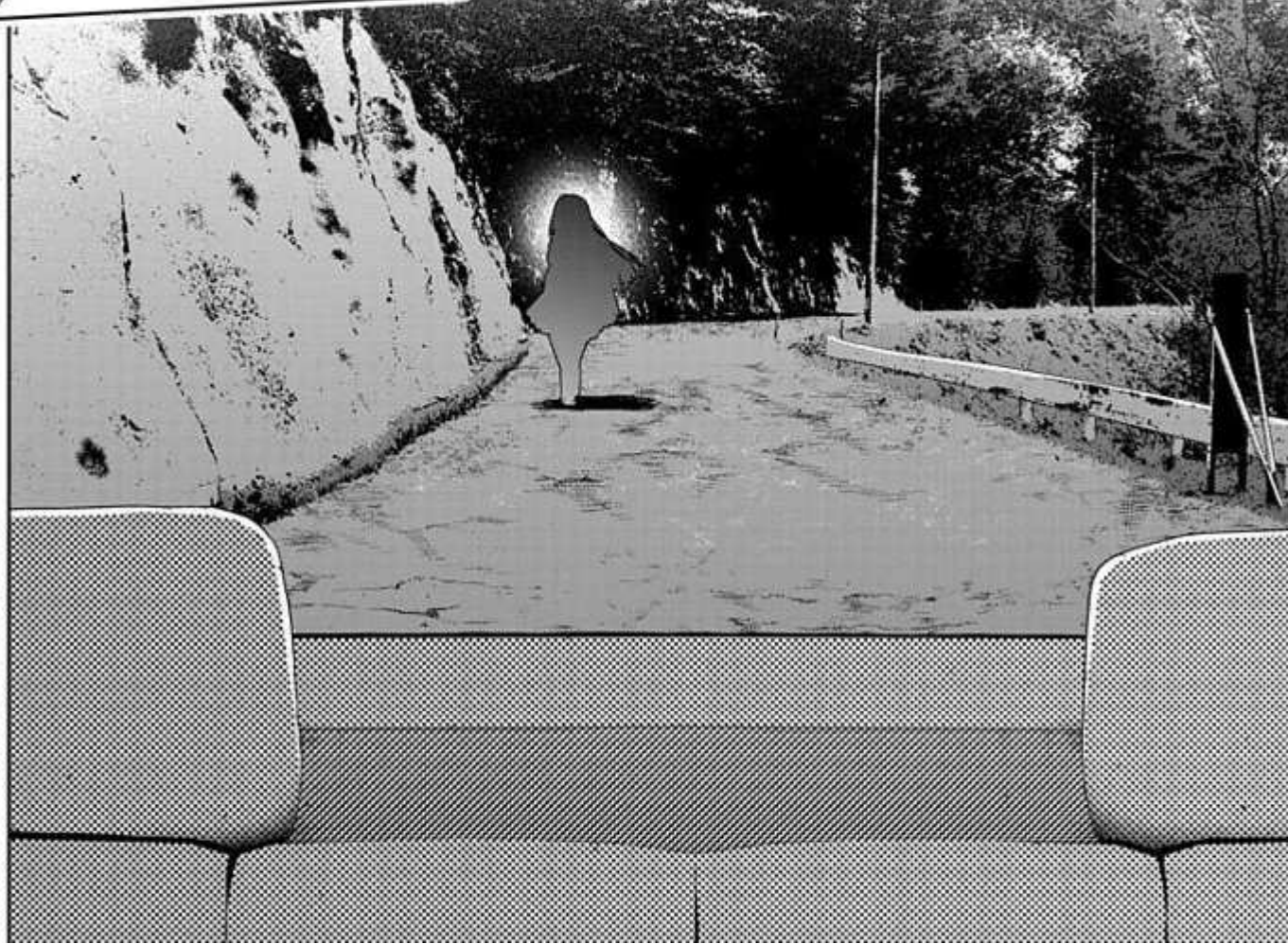
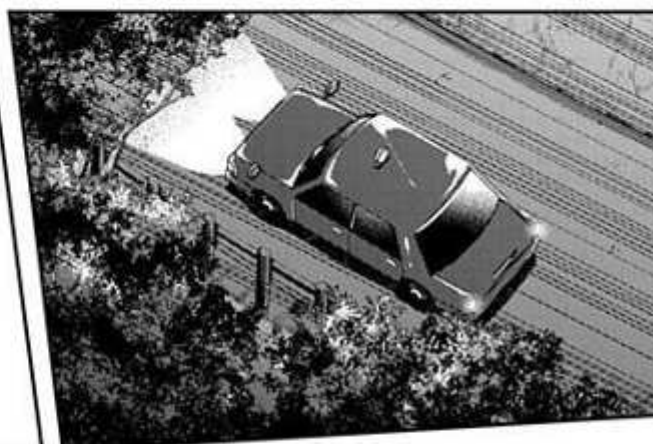
ちゅうううううっ
ん…っ こいつ まさか…
Hネルギー 吸うてるん か…!?
きゅうっ❤
この感じ… 前のナマコの 時と同じです…
くにぃっ…

それにさっき
あの女王が
言った通り…
ゴゴゴゴ
Hネルギー
吸う度 デカく
なってる…!?
ドゥルルルルルルルルルッ

それにしても
さっきの子達
大丈夫かなぁ…
帰宅って感じじゃ
なさそうだったし
…
しばらく
さっきの区域
流してるか
カッチ
カッチ
!

疲れてるのかな…？

やっぱり早く帰って休もう…

こ… こんなの…

ボクじゃどうしようもないのだ…
でも…
ボク達ならきっと…
うりゃりゃりゃっ

みんなっ！
こんな奴に負けちゃダメなのだっ！
ガブッ
ばっ
ガブッ
ガリッ
ドクン

ドゥルルルッ
何…これ…
身体が熱い…
ピクッ
ピクンッ
まさに身体の
内側から無限に
Hネルギーが
湧いてくる感じ…
ドクン
それに…
ドクン
パァァァッ
すっごく
気持ちいい
ーー

エグゼロス
肉食状態（ビーストモード）

はぁっ…
はぁっ
何だったんや
チャチャ…
今のは…？
ビ…
ビーストモード
なのだ…
まさか
XEROスーツ
ですら耐えられ
ないなんて…
頼みまし
たよ…
炎城さん…
…星乃さん…

ズズン…
はぁっ
はぁっ
星乃…
…その…
さっきは悪かった…
あんなことになっちゃって…
ほっ…
本当よ…！
ベッドから落ちたってのもわざとなんじゃないの…!?
だから謝ってるだろ…!?
それに…
(Hネルギー)
感じたのはお互い様だろ

ゴゴンッ

しゅうううう

言い方ってもんが
あるでしょ 言い方
ってもんが…！

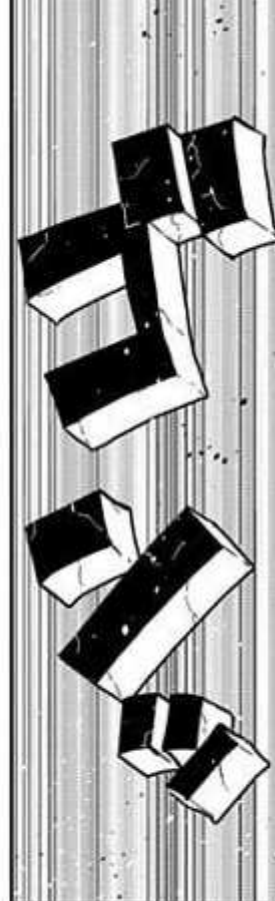
ぷい

ぷい

ス…スマン…

ズズズ…

驚いた
まさか自分から
一人になって
くれるなんてね…

!?

…何…したの…今…？
はぁ
はぁ
私の能力はね…
全てのキセイ蟲を意のままに操れるのよ
ズリ

ただし…
……血を与えた生物も例外じゃないわ…
それ…どういう意味よ…？
!?
ってあれ…？身体が動かない…
!
大丈夫か星乃…!?

ふにっ♥

って 何操られてるのよ私〜ッ！
丁度いいわ…貴女達には随分と同胞が減らされたことだし
その新鮮で強力なHネルギーを頂いてまた産卵しないと
ぐっ
ぷるんっ
!!?

ムギュッ
く…苦し…
やはり逆らえないみたいね…
結局…これが人間の本性なのよ
はっ…
はぁっ…
どう？今からでも私の家畜になりたくなった？

何かないか…？
こいつを元に戻す方法…
本当にこのままじゃ…
…いや…
考えろ…
今まであんなに一緒に居たじゃないか…
星乃の弱点は——

こんなんじゃ全然Hネルギー感じねえよ

！

星乃の良い所はな…

自分で自分の魅力に気付いてないことなんだよ

炎城…何言って…

強気で強情かと思えば 押しに弱かったり
真面目なくせに文句言いつつもエグゼロスに入ってくれたりな
カアアッ
恥じらったり火照ってる顔も悪くない…
……
…でもな…そんな奴だからこそたまに見せる笑顔が一番なんだ…！

ガシッ
だから俺は
昔よりも今の星乃の方が——
～～～ッ

ってこんな時に何言ってんのよ馬鹿～～～ッ！
だっ
はーっはーっ…
戻ったな
はっ

やっぱり…
お前はこうでなくちゃ
………
やり方が乱暴なのよ
アンタは…

………
それで…さっき言いかけたことなんだけど…
……そ…その話は…
あいつを倒した後でだ

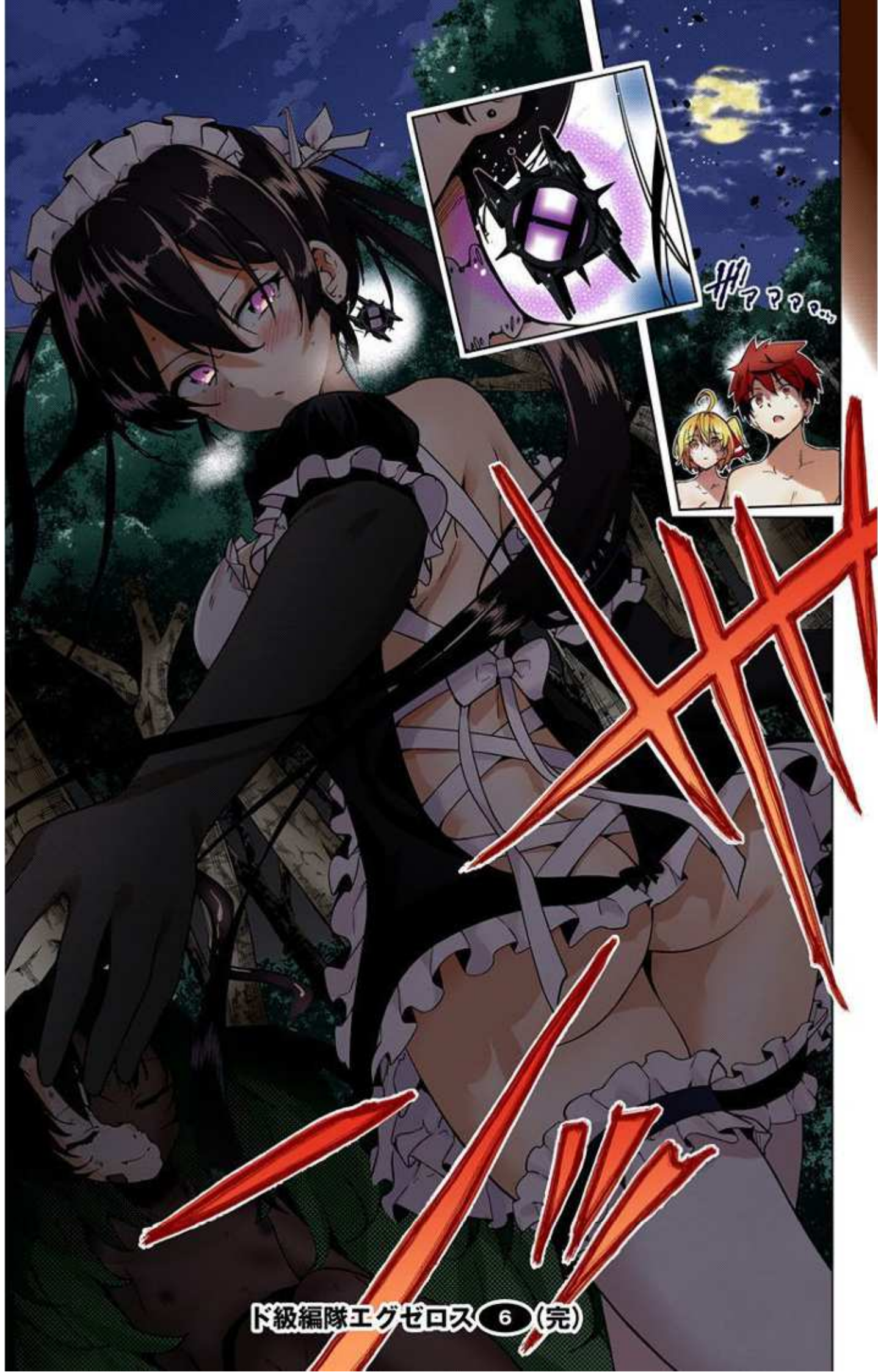
家畜の分際で
よくも私の
食事を邪魔して
くれちゃって…
これで終わりに
してあげる

この感じ…思い出すな…
初めて戦った日のこと…
ドドドドドドドドッ
ボッ

オオオオオオオオオオ
初めてよ…こんなHネルギーを味わったのは…
惚れたわ
!!
二つのHネルギーを掛け合わせた〝結合Hネルギー〟がこんなにも美味だなんて…
これこそ私達の求めていたHネル源…
いや…残念だけどこれで終わりだ

本当に終わるのね…
私達の戦いが…
!
……ようやく来たみたいね
!?
・・それを見た時…俺は前にトーキョー支部に聞いた話を思い出した

数週間前――
肌金荘露天風呂
なぁ橙馬…
なんで
トーキョー支部は
5人じゃなくて
4人なんだ？
あぁ
それが師匠…
ここだけの話…
キョロ
キョロ
？
メンバーが決まる前に
H×EROSが一つ
行方不明になっちゃった
所為なんだって
……
結構ずさん
だったんだな…
つーか
湯船ん中に
タオル入れるのは
マナー違反だろ
ぽいっ
ぎゃあ
ああっ！

ザァァァァ…ッ
ド級編隊エグゼロス 6 (完)

ド級編隊エグゼロス セミカラー版
6巻

きただりょうま

初版発行　　　　2019年
デジタル版発行　2020年

発行所　集英社
http://www.shueisha.co.jp

この作品は、著者カラー原画に加え、著者の原画をもとに
集英社で一部デジタル彩色を行った特別編集版です。

背表紙・カバー折り返し

※表記はコミックス発売当時のものになります。

本体・表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。

本体・裏表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。